

2024/4/15 (月)

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 7章 7-12節 (新約聖書11頁)

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。叩きなさい。そうすれば、開かれる。誰でも、求める者は受け、探す者は見つけ、叩く者には開かれる。あなたがたの誰が、パンを欲しがると自分の子どもに、石を与えるだろうか。魚を欲しがると、蛇を与えるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子どもには良い物を与えることを知っている。まして、天におられるあなたがたの父は、求める者に良い物をくださる。だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」

心の柱

中学から高校は思春期スパートと言って、知識や技能だけでなく、心も身体も最も速く、大きく伸びます。受け取るもの、見つけるもの、開かれていく世界も広がります。しかしせっかく努力して積み上げたものも、その目的を失っては宝の持ち腐れです。

皆さんは東京スカイツリーに昇りましたか。高さ世界一の電波塔です。実は中心には「心柱」という柱があります。東日本大震災で左右に5mも揺れましたが、その柱のおかげで倒れませんでした。それは千三百年前の法隆寺や薬師寺の五重塔を模しています。

五重塔は下から上へ、五層が段々小さくなり、美しいバランスです。一つの層の庇の瓦は百トン以上、塔全体の瓦は一千トンを超えます。それでも千三百年、地震などで倒れた塔は一つもありません。外から見えない心柱が免震の働きをしているからです。

同じように、皆さんも知識や技能、身体も五重塔のように幾重にも重ね、少女から大人へと成長します。そのためには風雨や地震に揺れても倒れない、目に見えない「心の柱」が必要です。与えられたものを何のために用いるか、その目的が心の柱です。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたはわたしたちに「良い物」を与えると約束されました。そして「人にしてもらいたいことを、あなたも人にしなさい」と言われました。それがわたしたちの心の柱です。いま戦争、地震などの災害、病にあって困難にある人びとを覚え祈ります。どうかわたしたちを導いて用いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン